



議長 永野 裕夫様

平成28年度

「第2回市町村議会議員特別セミナー」 受講報告書

(政務調査費関係)



【研修月日】 平成28年8月4日(木)

平成28年8月5日(金)

【研修場所】 滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所

清風会 小川豊治



平成28年度 「第2回市町村議会議員特別セミナー」 時間割

出 7.30分 17.5分

月日	9:00-	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00~)
8/4 木	8/16.35分 ANA 登	11:00-12:00 受付 11:30- 昼食	13:00- 開講・日程説明	【講義】(13:15-14:45) 医療機関・住民とともに地域医療を支える取組 自治医科大学 地域医療学センター長 梶井 英治	【講義】(15:00-16:30) 地域まるごとケア (医療の現場から) 東近江市永源寺診療所 所長 花戸 真司	16:30- 入寮オリエンテーション	2階【講堂】
8/5 金	【事例紹介】(9:00-10:30)	【講義】(10:45-12:15) 地域を健康にするまちづくり -Smart Wellness City-	2階【講堂】	12:15-12:30 閉講・事務連絡、	2階【講堂】	1階【大食堂】	
	埼玉県和光市保健福祉部 部長 東内京一	筑波大学大学院 人間総合科学研究科スポーツ医学 専攻 教授 久野 謙也	2階【講堂】				

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

(平成28年6月30日現在)

名札の色：白色、研修担当：吉野、瀧邊

◎市町村議会議員特別セミナー受講内容

○医療機関、住民とともに地域医療を支える取り組み

自治医科大学 地域医療センター長

梶井 英治

○地域まるごとケア（医療の現場から）

東近江市永源寺診療所

所長 花戸 貴司

○介護予防の公的責任と自治体

埼玉県和光市保健福祉部

部長 東内 京一

○地域を健康にするまちづくり

—Smart. Wellness. City—

筑波大学大学院

人間総合科学研究科スポーツ医学専攻

教授 久野 譜也

はじめに

今回の研修は清風会、同志会、議員と一緒にの参加である。議員研修には他市の先進地視察研修もあるが以前よりこの研修所へは一度は参加して研修を受けてみたい。何よりも北は北海道から南は沖縄まで全国各地の243名の議員が集い研修を受けることにより、この研修を通じて他市の議員と知遇を得ればネットワーク的なものができれば違った意味でも随分と成果が得られるのではないかと期待を持った参加でありました。

内容としては特に本市の重要課題である医師不足や地域医療の目指す政策等などこの研修を受けることにより一定解決の糸口が得られるのではないかと。以上の点についての参加である。

1、医療機関、住民とともに地域医療を支える取り組み等について

冒頭、現在の日本における社会構造と医療についての説明があり、その中で総人口の割合が減少傾向で年代別には約10年後の2025年総人口1億2,066万人が2060年には総人口が8,674万人そのうち65歳～74歳まで1,128万人(13%)75歳以上が2,336万人(27%)と高齢化社会への移行が示されている。特に国民の健康を取り巻き現状と課題については高齢化と疾病の慢性化、人間関係の過疎化がありそれらの課題として疾病の予防継続的なケア、闘病の支援(介護、リハビリ)生活の質の向上、生きがい間の回復が課題となっており、それらを問題とした施策、つまり地域包括ケアシステムの取り組み等具体的事例を交えて学習をしました。

他に

○国の医療政策の現状と課題

○県、二次医療圏及び市町村の医療対策の現状と課題

○地域医療を担う医師の育成

○住民が参加する地域医療づくり

などの講義を受けました。本市は現在医療機関は旧清水町へ集中している現状であり三崎、下川口地区は診療所は皆無であり住民の健康維持に対する素早い対応は厳しい状況であります。それらを含め地域住民がいかに健康を保持できるかは地域住民が強い意識のもとに自己改善をしながら地域全体で取り組み必要があります。そのためには委員会活動や市民との対話を通じてこの研修で得た知識を提言をして市民の皆さんが健康で明るく過ごせるような社会づくりに努めたい。